

西幹線道路開通後の構想について

岡野 一男 議員

質問

①当市の川東地区は、2本の幹線道路が南北に伸びている。川西地区については南北を縦貫する幹線道路は未整備状態である。そこで、西幹線道路周辺開発について執行部に問う。この路線は平成26年度完成予定であるが、用地買収進捗率、工事進捗状況を問う。また、縦軸の開通に呼応するように横軸、東西に走る道路の整備を行っていかねば、この地域の発展は望めない状況である。西幹線は、それがなければ単なる通過道路になってしまう。具体的に検討する時期に来ていないと考えるが、執行部の見解を問う。②現在、当市の大型プロジェクトは、圏央道

考える。そこで、坂手、内守谷、菅生、大塚戸地区の総合的な地域開発を推進するよう提案し、執行部の考え方を問う。

答弁(都市建設部長)

①用地の取得率は89%、工事の着手延長は1869mである。開通後は、国道294号や谷和原ICへのアクセスが容易となり、朝夕の渋滞の緩和、特に菅生南交差点の緩和が予想される。坂手川又線(仮称)については、具体的な検討はできない状況にある。

答弁(企画部長)

②坂手南境木周辺地区については、当該地区を一体的に開発整備する検討を行うことは容易ではないと考える。

再質問

西幹線道路については、計画どおり進めていただきたい。沿線開発については、工業団地の拡大と南部地区の開発も進めていただきたい。

再答弁(企画部長)

工業団地沿線については、第1番目に取り組むべきと考える。南部地区について

は、今後の検討課題として、考えている。

再々質問

内守谷、坂手工業団地の拡大が第一義と考え、ぜひとも南部地区の開発を進めていただきたい。

(その他の質問)

○中学校の武道必修化について。

国民健康保険税について

喜見山 明 議員

質問

国民健康保険の運営には、税収入と医療費のバランスが問題である。ヨーロッパの経済危機や東日本大震災や福島の問題は日本経済に影響を落とし、中小企業の多い常総市は大打撃を受けている。このような中、中小企業や商店、農家が加入しているのが国民健康保険である。会社が倒産したり、リストラされた方、社会保険に加入できない非正規労働者の方々が加入し、制度発足当時はたいぶ状況が変わってきている。今後、保険税の増加は見込めない。また、減収とは対照的に、医療費は増加傾向にある。収入が減少し、支出が増加しているというバランスが崩れている状況ではあるが、国保は今後ますます、その重要性は高まると思われる。国保税の税率はその市町村の歴史的要因等が複雑に絡んで決定され、運用されているが、当市の国保税率は合併前の水海道市の税率で賦課している。今後税率を



見るとともに、改正する場合、公平校正に賦課できる方策を検討願いたい。以上を踏まえ、執行部に伺う。

①県内の市町村、特に近隣市町村の国保の税率の状況について伺う。②税率の特徴を伺う。③資産割は続けるのか伺う。④一般会計からの繰出金をどう考えるか伺う。

国保運営につき、市長の見解を伺う。

再々答弁(市長)

国保の問題は県域にする考えもあり、解決に向かうと考える。ジェネリックの推進は市でも努力しているが、基本的には予防による健康が基本と考える。

ジェネリック医薬品により支出を押さえることも難しい。今後、国保税を変えていく必要と二重課税に対しての調整は、どう考えているか伺う。

再答弁(保健福祉部長)

ジェネリック医薬品に比べていく。総合的に研究していきたい。

答弁(保健福祉部長)

①県平均より若干低く、近隣とは同水準である。②地域性や産業構造、年齢構成、所得階層などの要素が影響している。③公平に付加できるよう精査していく。④現状ではやむをえないと考えるが、医療費の抑制に努めていく。

再質問

常総プレミアム商品券について

(その他の質問)